

財 政 街 づ く り

国民健康保険税

令和5年度以降、在留外国人の4割強に国民健康保険税未納の疑いがあるが、本市における収入未済額の

太田 丈之 議員

日本人及び外国人の滞納者は日本人が72% 外国人が28%



令和5年度以降、在留外国人の4割強に国民健康保険税未納の疑いがあるが、本市における収入未済額の5500万円と、ピーク時

推移と、日本人と外国人それぞれ滞納状況について、収入未済額については、適切な滞納整理を進めてきた。6年度決算では約21億6200万円、日本人は14億7100万円である。

推移と、日本人と外国人それぞれ滞納状況について、収入未済額については、適切な滞納整理を進めてきた。6年度決算では約21億6200万円、日本人は14億7100万円である。

固定資産税

固定資産税については、令和6年度の評価替えによる固定資産評価額の上昇に伴い、市民の負担が増加し

減税を行う考えは影響は大きいと考える



固定資産税については、令和6年度の評価替えによる固定資産評価額の上昇に伴い、市民の負担が増加し

固定資産税は市税収入の中でも、景気の変動に左右されにくい性質を持つ安定的な税目として、財政運営上重要な財源である。減税を行う場合、現在行っている市民サービスを持続していく上で、必要となる代替財源を確保することや、既存サービスの見直しが必要となることから、固定資産税の減税を行うことの影響は大きいと考えている。

右されにくい性質を持つ安定的な税目として、財政運営上重要な財源である。減税を行う場合、現在行っている市民サービスを維持していく上で、必要となる代替財源を確保することや、既存サービスの見直しが必要となることから、固定資産税の減税を行うことの影響は大きいと考えている。

菅野駅北側緑地整備工事

菅野駅北側緑地整備工事は完了したとのことだが、一見して完成したか判然としない状況である。現場に

クロマツの植栽、将来図等の設置は議員の指摘の通り検討したい



菅野駅北側緑地整備工事は完了したとのことだが、一見して完成したか判然としない状況である。現場に

菅野駅北側緑地整備工事は完了したとのことだが、一見して完成したか判然としない状況である。現場に

旧江戸川護岸整備

青山ひろかず議員(創生市川・自民党第2)旧江戸川の護岸は整備から50年以上が経過し、市民の安心安全を守るために早期の改修工事が必要と考

改修工事の進捗状況は令和6年度末までに980m完成



青山ひろかず議員(創生市川・自民党第2)旧江戸川の護岸は整備から50年以上が経過し、市民の安心安全を守るために早期の改修工事が必要と考

青山ひろかず議員(創生市川・自民党第2)旧江戸川の護岸は整備から50年以上が経過し、市民の安心安全を守るために早期の改修工事が必要と考

市域の延長約5kmに対し、令和6年度末までに980mの区間の改修が完了している。ベンチの増設は騒音の発生等から難しい状況であり、植栽は、低木が植栽されている部分は定期的な剪定等を行っている。なお、現在防草シートで覆われている部分は、段階的に花を植える予定である。

令和6年度決算

特別委員会の審査から

市議会は、令和7年9月16日から18日まで決算審査特別委員会を開き、令和6年度市川市一般会計特別会計及び公営企業会計決算について審査しました。

特別委員会では、本決算に対する監査委員の意見について、監査委員の出席を求めて質疑を行った他、決算書の審査に当たっては、議決した予算に基づく執行状況や行政効果等を中心に質疑を行いました。

審査終了後、本会議において特別委員会での審査に関する報告がなされ、採決の結果、議会は本決算を賛成多数で認定しました。

令和6年度において、本事業を経て就労し、生活保護が廃止となったのは27世帯であるが、保護が再開された事例はない。また、費用対効果について、委託料は約800万円、そのうち4分の3は国庫負担金の収入がある。就労に伴い、扶助費の支出は約400万円抑制することができた。

特別委員会での主な質疑応答 問 一般会計歳出総務費のうち、自治会コミュニティ活動支援補助金について、予算現額800万円に対して、決算額が約660万円になったことについて、どのように評価しているのか。



請 願

9月定例会には、新たに請願2件が提出され、所管の委員会で審査しました。

議会は、これら2件をいずれも採択しました。

(審議結果は8面)

意見書・決議

9月定例会には、意見書案13件及び決議案1件が提出され、議会は、意見書案5件を可決、8件を否決し、決議案1件を否決しました。

可決した意見書は、10月10日に関係行政庁等へ送付しました。

(審議結果は8面)

ドイツ・ローゼンハイム市 パートナーシティ締結20周年記念

令和7年8月27日から9月1日までの6日間、田中甲市長を団長とする市川市公式代表団が、ドイツ・ローゼンハイム市を訪問しました。議会からは、代表団の一員として、大久保たかし議長を派遣しました。

ローゼンハイム市は、ドイツ連邦共和国の南部、バイエルン州にあり、市川市とは平成16年にパートナーシティを締結し、相互交流を行ってきました。今回の派遣では、パートナーシティ締結20周年記念歓迎式典の出席をはじめ、市立学校や歴史博物館等を訪ねるなど、現地の方々との交流を図り、両市の友好関係を深めました。



アメリカ・カリフォルニア州・ガーデナ市 ガーデナ市の市制施行95周年記念行事に参加

令和7年7月21日から25日までの5日間、田中甲市長を団長とする市川市公式代表団が、アメリカ合衆国・カリフォルニア州にあるガーデナ市を訪問しました。議会からは、代表団の一員として、大久保たかし議長を派遣しました。

今回の派遣では、ガーデナ市の市制施行95周年記念式典に参加したほか、市川市少年野球団とガーデナ市少年野球団による交流親善試合を行うなど、現地の方々との交流を深めると共に、子どもたち同士も深い交流を図ることができました。

